

刊行にあたって

このたび、月刊デンタルダイヤモンドに連載された「徹底攻略!! 抜歯後疼痛」をベースにした書籍、『しっかり学ぶ抜歯後の痛みと偶発症——口腔外科に強くなるエッセンスブック』を刊行する運びとなりました。

本書は、2024年1月号から1年間にわたり連載された内容をさらに発展させたもので、「抜歯後疼痛」をテーマに、歯科臨床における日常かつ重要な課題について多角的な視点から深く掘り下げています。

抜歯術は、歯科臨床の基本的な小外科処置として広く行われていますが、時には術後に「強い痛み」「創部の併発症」「長期的な知覚神経障害（しびれ）」やその他の偶発症・併発症が生じ、対応に苦慮するケースがしばしばみられます。これらの症状が患者に「歯科医師の施術や管理のミス」であると誤解されることで、クレームやトラブルに繋がることも少なくありません。そのため、抜歯後疼痛に関連する問題を未然に防ぐためには、術後の疼痛や偶発症・併発症のメカニズムを正しく理解し、的確に対応する知識と技術が求められます。

本書では、抜歯術における術後疼痛の原因や関連症状について、科学的根拠に基づいたメカニズムを解説するとともに、偶発症や併発症を最小限に抑えるための臨床テクニックを具体的に紹介しています。また、術後管理や患者対応のポイントも多角的な視点で掘り下げ、読者の臨床現場で役立つ知見を提供しています。

本書が、歯科臨床医の皆様にとって、基本的な知識を振り返ると同時に新たな学びを得る契機となり、患者満足度の向上と臨床トラブルの予防に寄与する一助となれば幸いです。本書を日常臨床の“頼れるパートナー”としてお役立ていただければ望外の喜びです。

最後になりますが、本書の刊行にあたり多大なお力添えをいただいたデンタルダイヤモンド社編集部の田村昭一氏にこの場を借りて深謝いたします。

2025年正月 自室にて
管野貴浩